

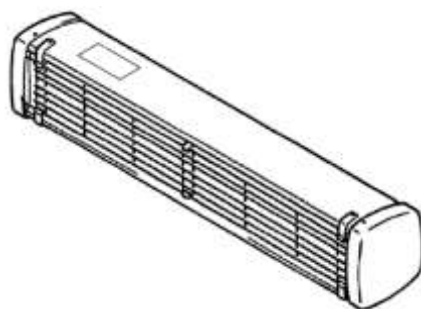
デンソー遠赤外線ヒーター ENSEKI

据え付け工事要領書

型式

EG-10RK

EG-15RK



据え付け工事をされる方へ

必ずこの要領書に従って
据え付け工事を行なってください

目次

必ず確認



安全のために	2
据え付け上の注意事項	4
電源配線上の注意事項	5
据え付けの事例	6
据え付けの要領	7
電気工事の要領	9
知っておきたいこと		
オプション部品	11

かならず
確認




安全のために

この機械を安全に使用していただくために、下記のことを必ずお守りください









●ここに示した注意事項の表示と意味は、次のようになっています。

 警告	誤った取扱いにより、死亡や重傷などの重大な事故に結び付く可能性が大きいもの。
 注意	誤った取扱いにより、傷害を負う可能性、または物的損害の可能性のあるもの。 状況によっては重大な結果に結び付く可能性があるもの。










●絵文中の図記号の意味は、次のようになっています。







	記号は、危険・警告・注意を促す内容があることを告げるものです。図の中や近くに具体的な注意事項が描かれています。
	記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容が描かれています。
	記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な指示内容が描かれています。

<据え付け上の注意事項>

 警告	
●据え付け工事は、この要領書に従って確実に行う。 感電や火災などの原因になります。	 必ず守る
●電気工事(漏電ブレーカの設置、D種接地工事など)は、お買い上げの販売店、または電気工事の専門業者に依頼する。 電気工事に不備があると、感電や漏電の原因になります。	 必ず守る
●アース工事を必ず行なう。 アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線には接続しない。 (アース工事は、電気工事の有資格者に依頼する) アースが不完全な場合は感電の原因になります。	 アースする
●電源コードは耐熱グレード(最高許容温度105℃以上)のもの以外は使用しない。 感電や火災の原因になることがあります。	 禁止
●ヒーター本体やオプション部品の設置はお買い上げの販売店、または専門業者に依頼する。 設置に不備があると、落下、感電、火災の原因になります。	 必ず守る
●地震などにより可燃物などが落下、または接触するおそれのある場所では使用しない。 火災の原因になります。	 禁止
●電源は定格電源以外で使用しない。(本体貼り付けの銘板を確認してください) 感電や火災の原因になります。	 禁止

<据え付け上の注意事項>

 警告	
<p>●可燃性ガスや油など危険物を使用したり漏れる恐れがある場所、導電性粉塵や油成分が浮遊している場所、木屑などの発火性粉塵がかかる場所では使用しない。 爆発性粉塵の近くや雰囲気内に設置しない。 爆発や火災の原因になります。</p>	 禁止
<p>●ヒーターの前方半径1m以内に可燃物や反射物(鏡、アルミ板、ガラス製品など)、壁面などを近づけない。 火災や変形の原因になります。</p>	 禁止
<p>●燃えやすいものの近くで使用しない。 火災の原因になります。</p>	 禁止
<p>●据え付け面は不燃材料であることを確認する。 火災の原因になります。</p>	 必ず守る
<p>●据え付ける天井及び壁面の吊り下げ強度は、ヒーター本体重量の10倍以上の吊り下げ強度を有していることを確認する。 落下などによりけがの原因になります。</p>	 必ず守る
<p>●据え付けに用いるボルト及びナットはM8以上を使用する。 落下などによりけがの原因になります。</p>	 必ず守る
<p>●電源コードは、途中で接続したり、延長コードの使用、他の電気器具とのタコ足配線をしない。 感電、発熱、火災の原因になります。</p>	 禁止
<p>●酸、アルカリ、溶剤、塗料などの有害ガスや腐食性ガスが発生する場所では使用しない。 ガスによる中毒や発火の原因になります。</p>	 禁止

 注意	
<p>●周囲温度が-10～20℃の範囲外では使用しない。 本体が異常過熱したり、正常に作動しないことがあります。</p>	 禁止
<p>●本体やヒータースイッチが結露する環境では使用しない。 (特に高温、高湿度となる場所、例えば浴室、脱衣所、サウナなどでは使用しない) 本体が異常過熱したり、正常に作動しないことがあります。</p>	 禁止
<p>●屋外、水の飛び散る所、雨水や雪のかかる場所、湿気が多い場所では使用しない。 絶縁が悪くなり感電や漏電の原因になることがあります。</p>	 禁止
<p>●振動がある場所で使用しない。 故障や転倒の原因になることがあります。</p>	 禁止
<p>●直射日光が当たる場所では使用しない。 変色や変形の原因になることがあります。</p>	 禁止

かならず
確認

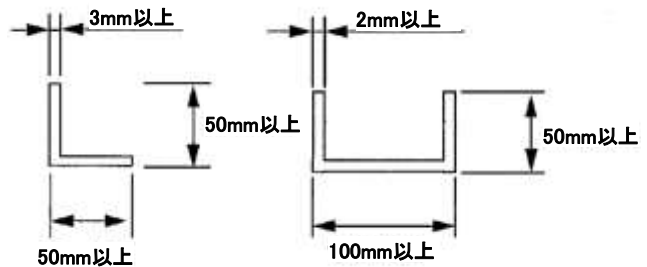
据え付け上の注意事項

据え付け面

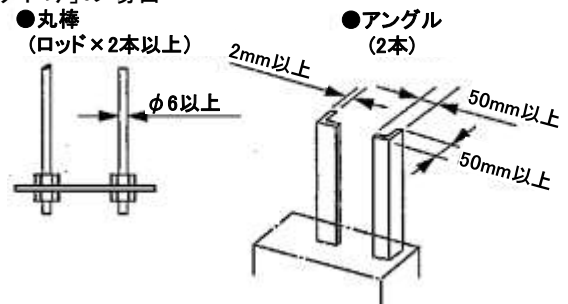
- 据え付け面は不燃材料であることを確認する。
⇒火災の原因になります。
- 据え付け面の吊り下げ強度の安全を確認する。(専門業者に確認してください。)
⇒落下などによりけがの原因になります。
 - ・ヒーター本体重量の10倍以上の吊り下げ強度を有していること。
 - ・ボルト及びナットはM8以上が使用できること。
 - ・はり、吊り下げ部材の事例(下記)……材質は鋼材で塗装などの処理をすること。

●据え付け面に直接木ネジで取り付けないでください。

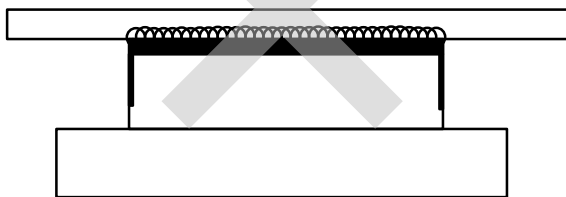
[はり]の場合



[吊り下げ]の場合

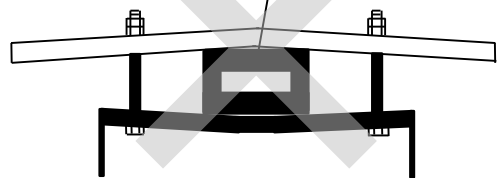


天井面



●ブラケットを溶接で固定しない。
⇒溶接の熱の影響で変形したり、強度が不足し落下の恐れがあります。

巾が狭い軽量
鉄骨など



●ブラケットが部分接地の状態では固定しない。
⇒変形してガタが発生し、落下の恐れがあります。

かならず
確認

電源配線上の注意事項

電源電圧

- 電源電圧範囲外では、絶対に使用しないでください。電圧範囲より高い場合は発熱体の寿命が著しく短くなったり、反射板などが高温で変形するなどの原因となります。また、電圧範囲より低い場合は暖房能力が低下しますので、必ず電源電圧範囲内で使用してください。
- 遠赤外線ヒーターの電源電圧は、下記の電源電圧範囲内で使用してください。
 - ・発熱体の寿命は定格電圧で設定されていますので、電圧範囲内であっても、常時高い電圧で使用しますと、寿命が短くなります。

定格電圧	電源電圧範囲
単相AC200V	200V±10%

電気工事



警告

- 電気工事(漏電ブレーカの設置、D種接地工事など)は、お買い上げの販売店、または電気工事の専門業者に依頼する。
電気工事に不備があると、感電や漏電の原因になります。
- 電源コードは耐熱グレード(最高許容温度105℃以上)のもの以外は使用しない。
感電や火災の原因になることがあります。



必ず守る



禁止

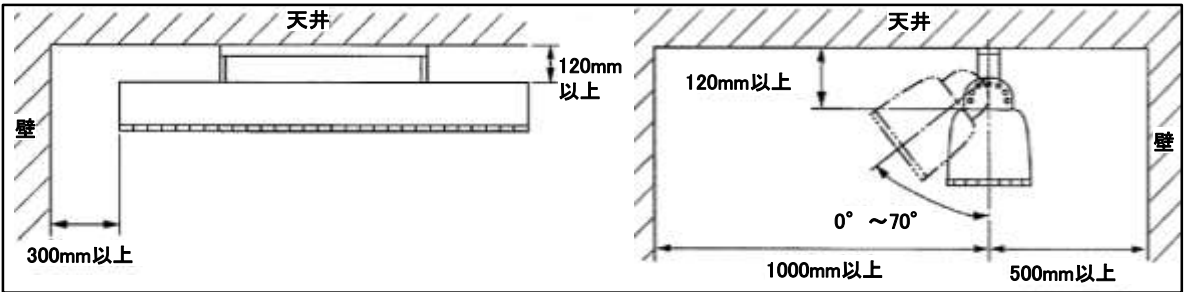
- 電気工事は、電気工事士の有資格者が行なってください。
- 電源線を延長する場合には、当社指定のオプション部品を使用してください。
- 電源線は、損傷防止のための保護をしてください。

かならず
確認

据え付けの事例

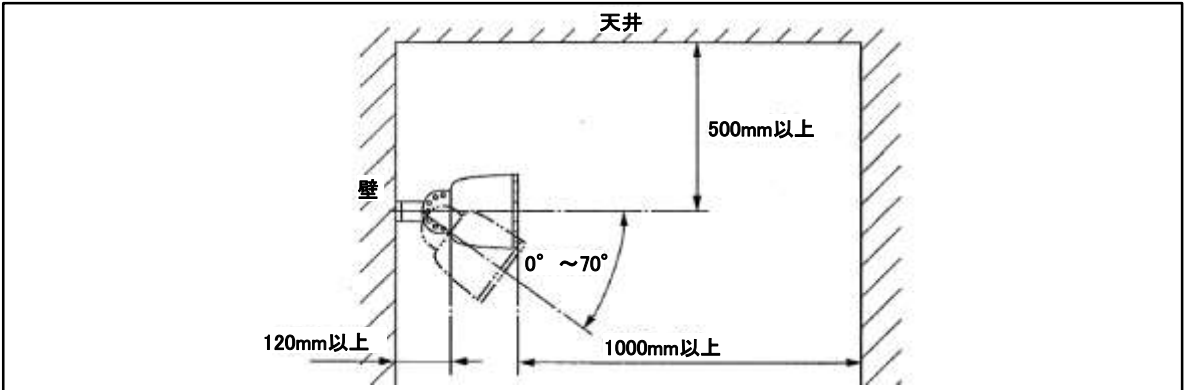
天井への据え付け

- 天井および壁との距離を必ず確保してください。
- 据え付けの位置・方向・角度について安全確認を必ず行なってください。



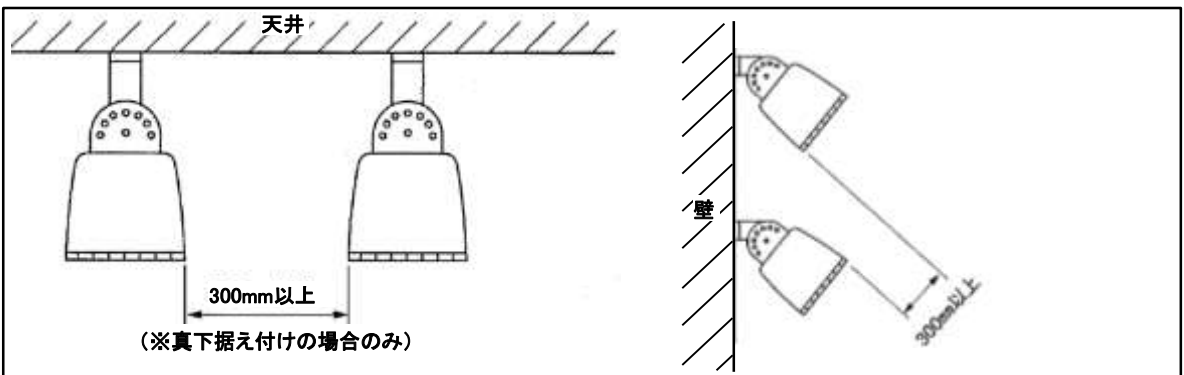
壁への据え付け

- 天井および壁との距離を必ず確保してください。
- 据え付けの位置・方向・角度について安全確認を必ず行なってください。



2台以上の据え付け

- ヒーター本体間の距離を必ず確保してください。
- 据え付けの位置・方向・角度について安全確認を必ず行なってください。



かならず
確認

据え付けの要領

ヒーター本体の設置



警告

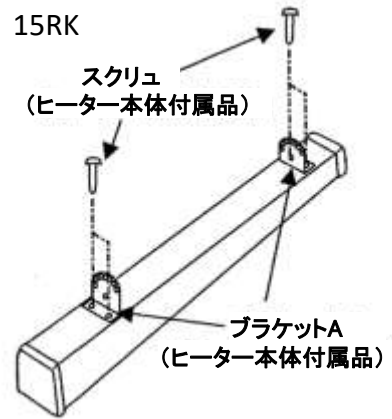
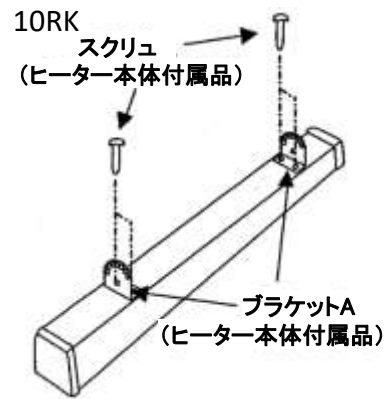
- ヒーター本体やオプション部品の設置はお買い上げの販売店、または専門業者に依頼する。
設置に不備があると、落下、感電、火災の原因になります。



必ず守る

- ヒーター本体の電源端子に電源線を接続後、作業を行なってください。⇒ 9 ページ

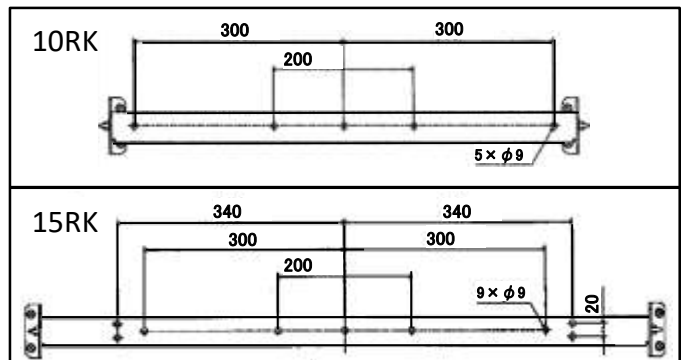
1. ヒーター本体の背面にブラケットA(L形のもの)をスクリュ(M6×L10)で取り付けてください。
 - ・10RKは、ブラケットAのL形が内側に向くように取り付けてください。
 - ・15RKは、ブラケットAのL形が外側に向くように取り付けてください。



2. 据え付け面にブラケットBを当て、現物合わせで穴(φ9)を3箇所以上あけてください。

- 穴は本体が確実に据え付けられる位置にあけてください。

■ブラケットB穴寸法



かならず
確認

据え付けの要領

- 据え付け面に現地手配のボルト・ワッシャ・ナットで
ブラケットBを取り付けてください。

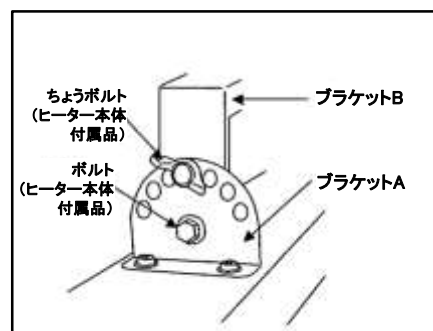
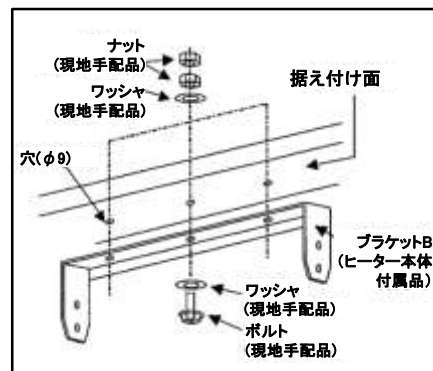
●ナットはダブルにしてください。

- ヒーター本体を持ち上げ、ブラケットBとブラケットAの
穴を合わせ、ボルト(M8×L18)を両側に取り付けて
ください。

●ヒーター本体は両側にボルトを通すまで支えてください。

- ちょうボルト(M8×L20)をブラケットAの穴に固定して
ください。(ご希望の照射角度となる穴に固定して
ください。)

●ボルト・ナットの取り付け部は、ゆるみがないことを確認
してください。

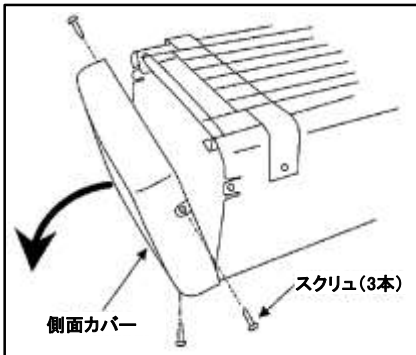


かならず
確認

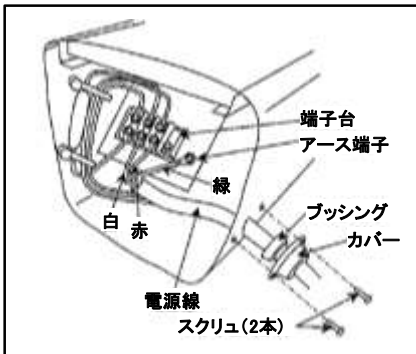
電気工事の要領

ヒーター本体への電源線接続

●電源線およびアース線の接続部は、必ず丸型端子を使用し、ゆるみのないように確実に締め付けてください。



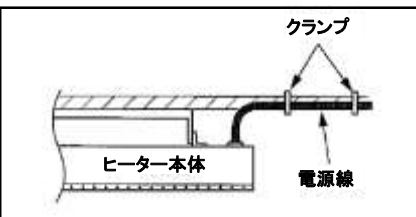
1. ブッシングと側面カバーを取りはずしてください。
・側面カバーはブッシングとカバーがある側を取りはずしてください。



2. ブッシングとカバーを電源線に通してください。
3. 電源線を本体側面の通し穴に通してください。
4. アース線(緑)をアース端子に接続してください。
5. 電源線(赤)・(白)を端子台に接続してください。
6. 電源線に無理をかけないようにして、ブッシングとカバーを取り付けてください。

●取り付け後、電源線を軽く引っ張り、抜けやガタつきのないことを確認してください。

7. 側面カバー取りはずしと逆の手順で取り付けてください。



●カバーとパネルの間に電線がかみ込まないよう十分注意してください。

8. 据え付け後、電源線がヒーター本体にあたらぬように必ずクランプで固定してください。

警告

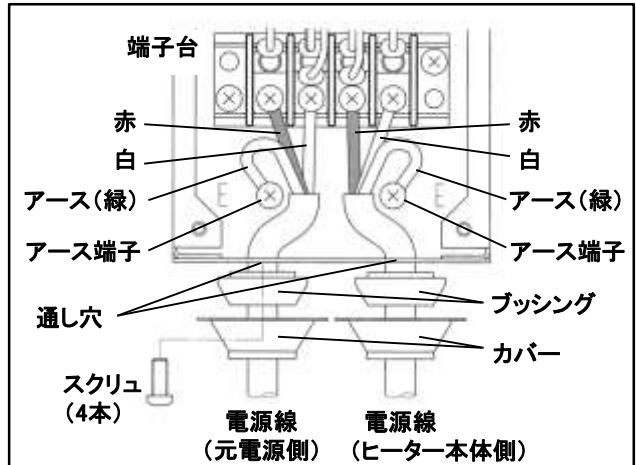
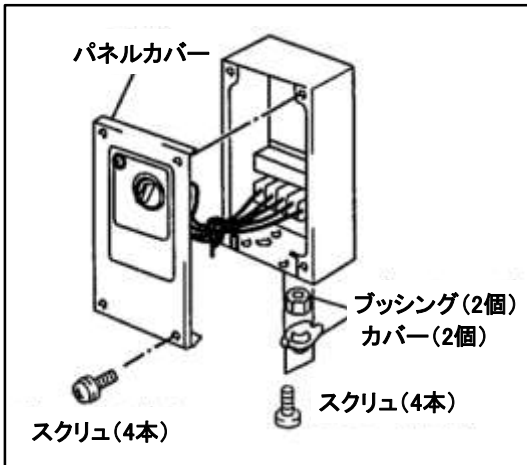
●電源コードは耐熱グレード(最高許容温度105℃以上)のもの以外は使用しない。
感電や火災の原因になることがあります。



かならず
確認

電気工事の要領

温度コントローラへの電源線接続



1. パネルカバーを取りはずしてください。
2. ブッシングおよびカバーを取りはずしてください。
3. ブッシングとカバー各1個ずつを元電源側とヒーター本体側の電源線に通してください。
4. 元電源側の電源線は通し穴の表示「電源」側、ヒーター本体側の電源線は通し穴の表示がない側に通してください。
5. アース線(緑)をそれぞれのアース端子に接続してください。
6. 元電源側の電源線(赤)・(白)は端子台の表示「電源」側、ヒーター本体側の電源線(赤)・(白)は端子台の表示「赤 白」側に接続してください。

●電源線およびアース線の接続部は、必ず丸型端子を使用し、ゆるみのないように確実に締め付けてください。

7. 電源線に無理をかけないようにして、ブッシングとカバーを取り付けてください。

●取り付け後、電源線を軽く引っ張り、抜けやガタつきのないことを確認してください。

8. パネルカバーを取りはずしと逆の手順で取り付けてください。

●カバーとパネルの間に電線がかみ込まないように十分注意してください。

知って
おきたい
こと

オプション部品

・当製品には、下記のオプション部品が設定されていますので必要に応じてご使用ください。

オプション		品番
ヒータースイッチ	温度コントローラー (Aタイプ)	479700-0430
	ON/OFFスイッチ (Bタイプ)	479720-0132
	タイマースイッチ (Cタイプ)	60分OFFタイマー
120分OFFタイマー		479700-0322
電源コード	3芯・1.25mm ^φ × 5m	479083-0100
	3芯・1.25mm ^φ × 10m	479083-0150

オプション部品の設置はお買い上げの販売店、または専門業者に依頼してください。

